

奈良文化女子短期大学 幼小接続ワーキンググループ合同研究会
第49回 議事録

1 日 時 平成25年7月20日(土) 11:00~12:35

2 場 所 奈良文化女子短期大学 本館 5階(第1演習室)

3 参加者 10名

うち本学事務局 4名

4 内容

(1) 小学校・保育園の交流実践報告～「七夕交流会」について～

<報告者>岐阜県関市立下有知小学校 教頭 大山夏生先生

<概要>

- ・平成22年度より「ぎふっこすこやかプラン」「幼小連携推進事業」半歩ずつだが進んできた。市教委の指導で8月と1月の年2回、推進会議を実施。今年度は「食育」のテーマが与えられている。
- ・下有知小の年間予定は、6月：運動会に年長児が参加(昨年度は実施せず) 7月：七夕交流会 11月：就学時健診(5年生が園児を誘導)、幼稚園の芋ほり体験に1年生が参加 2月：生活科に年長児が1日体験入学。
- ・今年度は「参加から交流へ」をテーマに、①行事の見直し②インフォーマルな連携を実施。教師の負担を減らし、意義のあるものにしていく工夫。
- ・年度当初の打ち合わせは昨年まではペーパーのみだったが、今年度は担当者同士が直接顔を合わせ、ねらいの明確化を行った。園児のねらい：「小学校へのあこがれと見通しをもてる」1年生のねらい：「自分の成長への気づきをもつ」
- ・6月の運動会参加は、子ども同士の関わりを重視し、年長児と5年生がペアになり「玉入れ」を実施。園児からも好評だった。
- ・七夕交流会の実践報告(別紙資料あり)：1年生2名と園児1名がチームになりクイズ、ボール送りゲーム、製作、1年生にインタビュー等。ミニ反省会では、マイク指示の意義、「体操座り」のことを園では「おやますわり」ということが分かった等の意見が出された。
- ・「教頭だより」を持参する等、インフォーマルな関係づくりから、互いの行事を知ること、教員同士の交流の第一歩へ。

<質疑応答>

- ・実際の連携はどのくらいの頻度で行われているか?：一月に1回ペースで行っている。会議の時間は双方にとって16時半からがベストだとわかった。
- ・小中連携を行ったが結果的にうまく機能しなかった。(会議が既存のものと同内容的に重なったため)幼小接続のいきつく目的はどこにあると考えておられるか?：いきつくところは教師の指導観の共有だと思う。小学校では、上からの指導でなく、幼稚園教育で子どもに培われているものを引き出す教育が

大事であり、そのような指導観を教員相互に共有できる機会になっている。
教員が学ぶ場としたい。

(2) ミニ講演「言葉を育てるための幼小接続」(本学 恒岡宗司先生)

- ・幼小接続問題の歴史：明治・大正期より「連絡」という言葉で幼小問題が論じられていた。幼稚園教育は学校的性格から出発していたが、その弊害が論じられるようになり、今日の原型となる「遊び」を中心とした保育が認知されるようになった。(倉橋惣三の影響)
- ・幼児教育・小学校教育から見た言葉の力の育成：幼稚園・保育所の先生は言葉の発達の意識が背景にあり、「言葉」としての意識で子どもたちに接している傾向が強く、小学校の先生は国語教育、国語科教育の意識が背景にあるため、「国語」としての意識で子どもたちに接している傾向が強いのではないか？
- ・親の立場からみた言葉の問題：親は、子どもの幼児期は早期教育あるいは発達の遅れに関心が強く、児童期になると、読める・書ける能力(テスト結果)に関心が移り、話す力・聞く力・伝え合う力への関心が弱まり関与も減る。言葉に関する親からの抗議(苦情)の例(別紙資料あり)。

(3) グループによる話し合い：幼稚園・保育所や小学校で経験された、親からの言葉に関する意見、要望、苦情、相談について、①子どもの使う言葉自体に関する事②子どもの言葉の遣い方や遣う場面に関する事③先生の言葉遣いや言葉の指導に対する要望④言葉への関心をもたせるための環境等の工夫に分けて出し合う。(記入後模造紙に貼り、順に発言)

(4) 恒岡先生よりコメント

子どもの言葉を育てるには、親の影響を抜きには考えられない。言葉の発達について、幼稚園・保育所と小学校の先生は同じ認識をもち、それぞれの時期を過ごす子どもたちの発達に則して指導に当たっていく必要がある。また、親の意識の変化を前提とし、親に対して適切な説明や助言する言葉を持ち合わせている必要がある。すなわち幼小接続の視点で親の戸惑いを受け止め、親とつながることが言葉を育てることにつながる。

今回のワーキングでは事例を出し合うまでを行った。実際の場面で親にどのような説明や助言をしたか、幼小接続の視点からの適切な説明や助言の在り方については、次回以降の機会に取り組みたい。

5 次回の予定

平成 25 年 9 月 21 日 (土) 11:00~12:30 (受付 11:30~)